

## 「見えない根っこ」

12月になりました。この頃、とても寒くなり、日の暮れるのも本当に早くなっています。厚着はいけませんが、温かい服装をして、風邪をひかないようにしましょう。日が暮れると、車の運転手さんからは歩行者や自転車に乗る人が見えづらくなります。暗くなってから自転車に乗るときは、ライトを必ずつけて乗ること。交通事故の原因で、ダントツ一位は飛び出しです。暗くなった道で絶対に飛び出しはいけません。病気や事故に気を付けて一年を楽しく締めくくりましょう。

さて、今日は詩を一つ紹介します。相田みつをさんという有名な書家がいきました。書家とは、筆で文字を書くことをお仕事にしている方です。校長先生は、相田みつをさんの詩が好きで、詩集を3冊持っています。これが相田さんの字です。どうです。味わいがあるでしょう。この味わいのある文字で、人の心に響いたり、大切なことに気付かせてくれたりする、奥の深い言葉でたくさんの詩が書かれています。今日はその中から一つだけ、とても短い詩を紹介します。

花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根は見えないんだなあ

詩に添えた桜の花や木の画像は、校長先生がインターネットで追加したものです。もう一度読んでみますね。

花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根は見えないんだなあ

さて、相田さんは一体、何が言いたいのでしょう。

みなさんは、2学期の学習を通して、たくさんの花を咲かせてきました。桜やチューリップのように、植物の花ではありません。たとえば、1年生は人生で初めて漢字に出会い、50字ほどの漢字を書けるようになりました。2年生は人生初の掛け算に出会い、掛け算九九の暗唱にチャレンジしているところです。ほかの学年の人もそれぞれ、たくさんの初めてと出会い、できるようになったことがたくさんあるでしょう。初めてできるようになったこと、初めて分かったこと、その一つ一つが、みなさんに咲いた花なのです。そんな花の一つを、体育発表会ではダンス、学習発表会では学びの成果としてお家の方に見ていただけた2学期でした。

さて、その花を支えてくれた、枝や、幹は、何でしょう。どんな花も、根っこなしでは、咲くことができません。みなさんがこの2学期に咲かせてきた成長という花を、暗い土の下にかくれて一番下で支えてくれている見えない根っこは何だったでしょう。

相田さんは「根は見えないんだなあ」と言っていますが、かしこく、あたたかい、芝小のみなさんには、その根っこが見えてきたと思います。

みなさんが咲かせる花を支ええくれる見えない根っこへの感謝の気持ち、ありがとうの気持ちをもちながら、1年を締めくくる12月を、大切に過ごしてほしいと思います。